

パワー浜松ロータリークラブ週報 2013年7月23日号

パワー浜松ロータリークラブ(2013-14年度会長:松本好司)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC

本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう
～心で感じて・考えて・活動しよう～



ENGAGE
ROTARY



CHANGE
LIVES

第495回例会 7月23日(火)AM7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

■司会:梯正之、土屋公良 ■点鐘:松本好司

■ロータリーソング:希望のエネルギー

■卓話:卓話者 奥山恵理子会員

「認知症サポーター講座開催後の静岡県における発展と意義、これからの課題」

出席報告

本日出席率
64/80名
80.00%
前々回出席率
91.25%

会長挨拶

今月に入って浜松中RC、浜松ハーモニーRCにお邪魔いたしました。通常例会でのお招きでしたので、例会での様子が少し違う部分もあり当クラブも将来参考にしたいプログラムも感じました。

その一つに4つのテストの扱いです。

志田ガバナーのご挨拶のなかで、

ロータリーの五つの中核的価値観を議論してください。きっとロータリーを続け、知り合いに薦める価値が見えてきます。そしてロータリーを実践してください。ロータリーのバッジを胸につけ、豊かな人生を送ってください。

中核的価値観の五つは奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップです。

その中核的価値観は私たちが日々遵奉している『ロータリーの目的』『四つのテスト』に

反映されています。と感じましたので今年度考えて行きたいと思えます。

続いて、次年度の例会をご紹介します。

8月第一例会は担当ロータリー財団

未来夢計画で都田自然学校を支援する予定です。

講師に都田自然学校の加藤様をお招きし自然学校の活動を知っていただき、未来夢計画を一緒に考えましょう。

8月第三例会夜例会は担当国際奉仕プロジェクト

ミャンマーの現地の様子と教育現状などについてお話をいただく予定です。卓話講師に元パワー浜松RCチャーターメンバーの菅野さんをお招きしています。

国際奉仕プロジェクトの活動に繋がる可能性について皆さんともに考えましょう。

8月第四例会担当新世代奉仕プロジェクト

青少年交換留学生のマリーンさんのお話です。

先日の会長幹事会の情報ではパワー浜松は区内では実績の多いクラブです。

もっと会員全員に理解を求めたいと思います。



松本会長 挨拶



松本会長と仲秋さん

幹事報告

- ① 先月、仲秋さんより卓話にてご報告頂きましたロータリー友情交換プログラムについて RI2620 地区の前ガバナー事務局より謝礼が届いておりますので松本会長より贈呈致します。
- ② 次回、7月30日の第496回例会は会場監督担当で衆議院議員 外務大臣政務官 城内実様をお招きし卓話を頂きます。ご出席お願い致します。

委員会報告

新世代奉仕プロジェクト/八田峰夫 PL、長谷川隆是委員
青少年交換学生ホストファミリーの依頼とアンケートについて
会計/安間利広会計
会費引き落とし(7月25日)の案内について



長谷川委員と八田 PL



安間会計担当

スマイル報告

今回は、スマイル報告はありません。

近々例会情報

8月6日通常例会
財団プログラム部会
代表 加藤正裕様 卓話「みやこだ自然学校の紹介」

第495回例会 7月23日(火) 卓話

卓話者 奥山恵理子会員

『認知症サポーター講座開催後の静岡県における発展と意義、これからの課題』

2006年、パワー浜松RC5周年事業として「認知症サポーター養成講座」を開催しました。パワー浜松RCメンバーが「それぞれの立場で活動することで社会貢献する」ことを目標にこのテーマを選び、市民にはたらきかけ、1004名参加という日本最大規模の講座開催となりました。それから、7年、今や大きなうねりとなって確実に地域社会に浸透定着し、2013年3月末に全国では410万人の「認知症サポーター」が誕生しています。「認知症サポーター養成講座」とは、認知症を正しく理解し、社会生活において認知症になられた方をそれぞれの立場で支援することのできる人を養成するボランティアが主催する講座です。認知症は60種類以上の原因で起こる脳機能障害を主訴とする疾病で、その多くは原因がわかっていないため予防及び治療方法は確立されていません。2013年6月には65歳以上の人の認知症有病率推定値が15%（約439万人）、軽度認知障害（MCI）の推定値が13%（約380万人）と発表され、認知症を早期発見し、重度化しない対策が急務となってきました。認知症になっても、「できる限り住み慣れた環境で暮らしたい」という希望をかなえ、「社会から孤立しない」ことは認知症の重症化を抑制すると考えられ、そのためには地域社会を構成する健康者の認知症理解が重要で、「認知症サポーター養成講座」の社会的役割は重要です。パワー浜松RCの取り組みと成果をまとめてみました。（表1）

2006年10月14日に創立5周年記念事業としての講座開催と同時に、行政費用補助のないボランティア講座開催に対して、「認知症サポーター養成基金」が日本初資金援助制度として設立されました。これを契機に、「浜松市キャラバンメイト連絡協議会」設立、他地域RCにもこの活動が広がるとともに、浜松市が自費教材の無償配布、講座講師に対して交通費・経費一部支給も開始しました。さらに2009年3月には当時のパワー浜松RC高木会長よりキャラバンメイト連絡協議会に対して、講師再研修用書籍も寄付されるなど活動の輪はしだいに大きくなり継続されています。その後も活動は全国展開されていますが、懸念されているのはサポーターの年代と性比です。（図1）厚生労働省は小学生版と中学生版テキストを発行し、若い世代の理解者拡大をはかろうとしていますが、いまだに60歳代以上の女性のサポーターの多くをしめています。

浜松市における認知症サポーター養成講座の変遷	
2006.10.14	パワー浜松創立5周年記念事業「認知症サポーター養成講座」1004人認知症サポーター養成（日本最大級）認知症サポーター養成基金設立（日本初）
2007.4.	浜松市キャラバンメイト（サポーター養成講師）連絡協議会設立 浜松市役所高齢者福祉課が事務局担当
2007.11.3-4	静岡文化芸術大学碧風祭にて講座開催（社会奉仕委員会） 中学生・大学生サポーターを多数養成
2007.12.	浜北RC社会奉仕委員会・静岡在宅ケア懇談会主催講座開催 （以後、毎年開催となる。協力：パワー浜松RC、後援第8分区RC）
2008.4.	浜松市が市民向け認知症サポーター養成講座に教材（100円） 無償配布、講師交通費（1700円）支給開始。
2009.3	当年度高木会長より浜松市キャラバンメイト連絡協議会に 講師研修用書籍寄贈
2013.7.	職場研修としての講座開催にも資料（100円）無償提供開始 認知症サポーターのいる事業所マーク（200円）無償交付開始

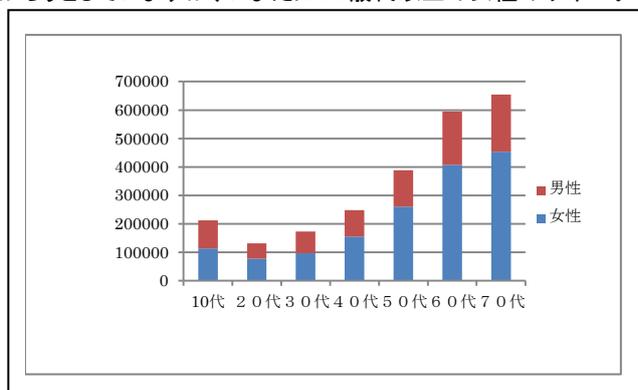


表1 パワー浜松RC 創立5周年記念事業による

図1 性別・年代別サポーター構成比（平成23年3月31日現在）

「認知症サポーター養成講座」と成果

認知症の60%以上をしめるといわれている「アルツハイマー型認知症」は女性発症が多いとされるため、若い世代の認知症サポーターを養成すること、男性認知症サポーター養成が課題となっています。この課題解決のために、運輸（バス・タクシー・鉄道関係者）、金融関係（郵便局・銀行・保険会社）、販売関係（デパート・コンビニ・スーパー・地域商店会など）が職場研修をはじめました。浜松市においては本年7月から、企業に資料の無償提供が開始され、厚生労働省作成の「認知症サポーターのいる事業所ステッカー」も無償配布となりました。

パワー浜松RCがあげた「大きな社会啓発花火」がきっかけとなり、活動が続いています。この活動をご理解いただき、ロータリアンとしての奉仕活動のひとつとして、ご協力お願いいたします。「認知症サポーター養成講座」は本年9月22日（日）には浜松市福祉交流センターにて第14回日本早期認知症学会大会市民公開講座として、10月26日（土）にはなゆた浜北にて浜北RC社会奉仕委員会・静岡在宅ケア懇談会共催にておこなわれます。講師は浜松医大第一内科教授宮嶋裕明先生と私が担当させていただきます。まだ「認知症サポーター」となっていないメンバーの方々のご家族・ご友人とお誘い合わせてご参加ください。また、会社・地域等で開催希望がございましたら浜松市高齢者福祉課または奥山までご連絡ください。（講座参加または講座企画申し込み：hhs1-cm@mbn.nifty.com）